



2025.9.11 第9号

森田 博

4年「月や星の見える方」

6年「月の位置と太陽」

9月8日真夜中の皆既月食から月の学習へ

2学期が始まり、4年生も6年生も月の学習をスタートしました。そのちょうどこの時期タイムリーに皆既月食が見られました。9月8日（月）の真夜中、1時27分から満月が徐々に欠け始め、4時57分に元の満月に戻りました。月は赤く光、幻想的でした。

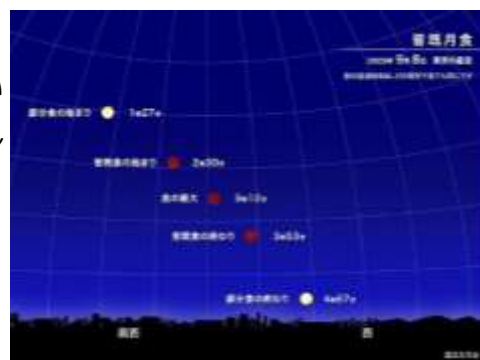
私は、1時6分に空を見たあと、4時過ぎまでうっかり寝てしまい赤い月を眺めるチャンスを逃してしまうという大失態を犯してしまいました。それがこの写真です。



4年生の学習では、月の位置が時刻によってどのように変わるかを理解します。満月が西へ動いていることがわかります。矢印の電信柱を目印にして月の位置変化を捉えます。

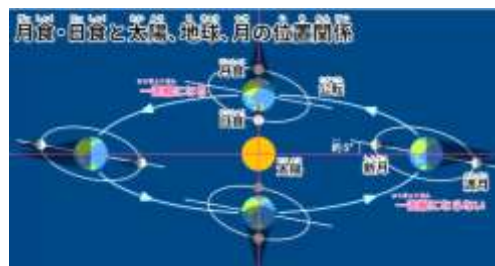


右下が少しまだ欠けています



国立天文台

<https://www.nao.ac.jp/astro/sky/2025/09-topics01.html>



キッズネット

<https://kids.gakken.co.jp/kagaku/kagaku110/lunar-eclipse20231025/>

さて、6年生の学習では、月と太陽の位置関係で月の見え方が違うことを理解します。9月8日（月）の満月のときは、太陽が18時に西に沈むころ東の空に見えてきます。このとき、月と太陽と地球は直線状に並びます。実は、月食も直線状に並びます。では、なぜ満月は月に1回見えるのに、月食は半年に1回か、数年に1回しか見ることができないのでしょうか。これを理解するにはなかなか難しいですが、月の不思議や面白さを伝えるために簡単に触れました。「地球の周りをたった5度傾いて月が回っている」ことを説明すると「え！？そうやったん？」と言った子がいます。月の大きさからして、少しずれることで、地球の影が映らず、満月になります。本当に「一直線になったときだけ月食になる」ことを知ると、「めっちゃレア！」と言った子がいます。説明できるまでは求めず、「すごいな！」「そういうことなん！」という驚きや、初めて聞く月と太陽の位置関係を、今起きていることを今教えることで、より科学への見方、考え方が広がり、関心も大きく高まると考えながら授業で教材化を図っています。いつしか、こうした積み重ねた情報や知識が次の段階へ進んだ時、結びついてくれたらと願っています。

今、理科室では、宇宙空間に見立て、月の見え方と太陽の位置関係を、遮光カーテンを閉めて真っ暗の中で学習をしています。

